

リーダーシップスタイル診断テスト

5月、6月の例会委員会タイムで、お二方の先輩の各々のリーダーシップを学びます。
その前に、リーダーシップ行動のパターンを「ペースセッター型」「指示命令型」「調和型」「指導育成型」「民主型」「ステーションナリー型」の6種類のスタイルに類型化している「リーダーシップスタイル診断テスト」というものを行いたいと思います。

資料にあるリーダーシップスタイル診断テストに回答することで自分のリーダーシップがどのスタイルに近いかが判断することができます。

以下の問いについて、「自分に当てはまる」と思う状態を「A=その通り」「B=そうともいえる」「C=全く違う」の中から選び、各ボックスの中に記入してください。

- 1.部下が問題に遭遇した時は、独力でその問題を乗り越えさせている。
- 2.非常にこまめに部下を監督している
- 3.部下との緊密な個人関係を築いている
- 4.部下の成果を管理することよりも、部下の自発性を促している
- 5.権限を委譲し、チャンスを与えることで、部下を育てている
- 6.部下と意見が対立した時は自分の主張の根拠をきちんと説明している
- 7.上司としての仕事ぶりを見せて、仕事の手順を学ばせている
- 8.上司の指示していることをただちに実行させている
- 9.部下との対立を生むような議論は極力避けている
- 10.仕事のやり方のいろいろな選択肢を与えて、部下の判断に委ねている
- 11.部下の管理監督よりも、部下とのコンセンサスを重視している
- 12.自分の希望や意思は、提案という形で部下に伝えている
- 13.高い目標を部下に与え、それを達成できた者だけを評価している
- 14.職務遂行のために、ペナルティーを駆使している
- 15.部下が個人的な相談を持ちかけてきたら、優先的に時間を割いている
- 16.部下がうまく仕事できていない場合には、その不備を指摘し、良いやり方を教えている
- 17.組織に問題や課題がある時は、部下同士で互いに相談して解決させている
- 18.部下はリーダーである自分の判断、方針に信頼を寄せている
- 19.目標を与え、その実現には口を出さず、部下の自己管理に委ねている
- 20.部門の短期的な業績管理を重視している
- 21.リーダーとして部下から人気を得るようにしている
- 22.部下に仕事をやらせて、その結果に対し役に立つようなフィードバックをしている
- 23.異なる意見は、新たな見方として尊重している
- 24.部下が期待した通りの結果を出せなかった時は、その理由をはっきりと冷静に説明している
- 25.部下が結果を出していれば、自分がかかわらないようにしている

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
スタイル A	スタイル B	スタイル C	スタイル D	スタイル E	スタイル F

Aは4点、Bは2点、Cは1点として合計を記入し、縦の列の合計を算出してください。
11点上があなたのリーダーシップスタイルです。複数になる場合もあります。

氏名
